

2011 年春季年会

年会プログラム

於 筑波大学

2011 年 3 月 16 日 (水) ~ 3 月 19 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2011 年春季年会プログラム

期 日 2011 年 3 月 16 日 (水) ~ 3 月 19 日 (土)

場 所 筑波大学 (茨城県つくば市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2011 年 3 月 15 日 (火) ~ 3 月 20 日 (日)>

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
3月15日 (火)								記者会見					
3月16日 (水)	A	受付			K. 超新星爆発 L. 太陽系 T. 銀河団 S. 銀河核 X. 銀河形成 J. 高密度星 Y. 教育・他 P. 星・惑星			ALMA 特別セッション (H会場)		天文教育 フォーラム (H会場)		理事会	
	B												
	C												
	D												
	E												
	F												
	G												
	H												
3月17日 (木)	A	受付	V. 地上観	ポスター	昼休み (評議員会)	V. 地上観 W. 飛翔観 R. 銀河 S. 銀河核 X. 銀河形成 / M. 太陽 J. 高密度星 N. 恒星 P. 星・惑星	総会 出席者確認	総会 (大学会館)	林賞 受賞記念講演	懇親会 (大学会館)			
	B												
	C												
	D												
	E												
	F												
	G												
	H												
3月18日 (金)	A	受付	V. 地上観	ポスター	昼休み	V. 地上観 W. 飛翔観 Q. 星間 U. 宇宙論 M. 太陽 J. 高密度星 A. 共進化 P. 星・惑星	研究奨励賞 受賞記念講演 (H会場)	LCGT 特別セッション (H会場)					
	B												
	C												
	D												
	E												
	F												
	G												
	H												
3月19日 (土)	A	受付	V. 地上観	ポスター	昼休み	ジュニアセッション (詳細は Web にて)							
	B												
	C												
	D												
	E												
	F												
	G												
	H												
3月20日 (日)								公開講演会					

A会場 : 1C棟 (210)

B会場 : 1C棟 (306)

C会場 : 1C棟 (310)

D会場 : 1C棟 (403)

E会場 : 1D棟 (204)

F会場 : 1D棟 (201)

G会場 : 1H棟 (101)

H会場 : 1H棟 (201)

受付 : 1C棟 (2Fロビー)

会議室 : 1C棟 (3F)

ポスター会場1 : 1E棟 (102)

ポスター会場2 : 1E棟 (203)

ポスター会場3 : 1E棟 (202)

ポスター会場4 : 1E棟 (303)

ポスター会場5 : 1E棟 (401)

展示会場1 : 1E棟 (1F)

展示会場2 : 1E棟 (1F)

ネットワーク室 : 1E棟 (403)

懇親会会場 : 大学会館

◎講演数

講演数：合計 632

(口頭講演 (a)：403、ポスター講演 (b)：181、ポスター講演 (c)：48)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (1C 棟 2F ロビー)

○参加登録受付時間：3月16日 11:00～16:00

3月17日 09:00～16:00

3月18日 09:00～16:00

3月19日 09:00～13:00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

※インターネットを利用される方は、隣の専用受付で利用申請してください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場で並行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3月16日の12:00から3月19日の13:30までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180 cm×横90 cmです。
3. 講演には液晶プロジェクタをご使用ください。液晶プロジェクタは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月15日	14:30～15:30	会議室	記者会見 年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
3月16日	15:15～16:45	H会場	ALMA 特別セッション
	16:45～18:15	H会場	天文教育フォーラム
3月17日	15:30～17:00 (15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)	大学会館講堂	総 会 ○各賞の受賞 ○2010年度事業報告 ○2010年度決算報告 ○監査報告
	17:00～17:30	大学会館講堂	林忠四郎賞受賞記念講演
	18:00～	大学会館プラザ	懇親会
3月18日	15:45～16:45	H会場	研究奨励賞受賞記念講演
	16:45～18:15	H会場	LCGT 特別セッション
3月20日	14:00～17:00	つくば国際会議場エポカル	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月16日	18:30～19:30	会議室	理事会	D
3月17日	12:30～13:30	会議室	評議員会	D
	12:30～13:30	A会場	宇宙電波懇談会総会	C
3月18日	12:30～13:30	A会場	ALMA 観測相談会	A
	12:30～13:30	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	12:30～13:30	C会場	光赤外天文学連絡会総会	C
	12:30～13:30	E会場	太陽研究者連絡会	B
	12:30～13:30	F会場	天文・天体物理若手の会総会	C
3月19日	12:30～13:30	A会場	女性天文学研究者の会・ランチミーティング	A

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい

B: 興味を持った人には広く門戸を開いている

C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない

D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ALMA 特別セッション : いよいよ始まる ALMA 初期運用観測

日 時 : 2011 年 3 月 16 日 (水) 15:15 ~ 16:45

場 所 : H 会場

概 要 : いよいよ ALMA の最初の初期運用 call for proposal(CfP) を宣言することになりました。プロポーザルの締め切りは 6 月末ですので、この春季学会が ALMA 最初の観測提案の最後の学会となります。本特別セッションでは天文学会員の皆様に ALMA の第 1 回初期運用時の性能を具体的に紹介し、どんな観測ができるのか、できないのかを説明します。また、第 1 回プロポーザルでは、観測提案をする際にどのような ALMA のユーザーサポートを受けられるのか、観測実施が決定後にどのようなユーザーサポートが得られるのかについても説明します。ALMA サイエンス評価活動で得られた最新のサイエンス成果などを紹介しながら、これらの説明および紹介を行いますので、これを機に是非 ALMA の観測提案をブラッシュアップして頂ければと思います。

プログラム : 1. いよいよ始まる ALMA 初期運用観測 井口 聖 (国立天文台)
 2. 初期運用のできる観測、できない観測 齋藤正雄 (国立天文台)
 3. ALMA で観測するための地域センターの利用法 奥村幸子 (国立天文台)
 4. さあ ALMA のプロポーザルを出しましょう 西合一矢 (国立天文台)

世 話 人 : 齋藤正雄 (国立天文台)

◎ LCGT 特別セッション

日 時 : 2011 年 3 月 18 日 (金) 16:45 ~ 18:15

場 所 : H 会場

概 要 : 大型低温重力波望遠鏡 LCGT 計画は、平成 22 年 6 月に最先端研究基盤事業に採択されました。本計画は、神岡鉱山内に基線長 3km の高感度レーザー干渉計を建設して、世界に先駆けて重力波の直接検出をめざすというものです。高感度化のために地下設置し、熱雑音を低減化するために低温ミラーを装着します。本計画では国際共同が前提となっています。最終的には国際観測ネットワークに加わって重力波天文学を構築することを目標としますが、初めは先行する LIGO や VIRGO と重力波の直接検出を競います。今回の特別セッションでは、以上のような本計画の概要および目指すサイエンスを紹介します。

プログラム : 1. はじめに 大橋正健 (東大宇宙線研究所)
 2. LCGT 計画の概要 黒田和明 (東大宇宙線研究所)
 3. LCGT の目指すサイエンス 神田展行 (大阪市立大学)

世 話 人 : 大橋正健 (東大宇宙線研究所)

◎天文教育フォーラム

主 催：日本天文学会、天文教育普及研究会

テーマ：「科学コミュニケーション」

日 時：2011年3月16日(水) 16:45～18:15

場 所：H会場

概 要：最近では市民が気軽にサイエンスを楽しめるように、サイエンス・カフェなどが各地で広く開催されるようになってきました。また「科学技術コミュニケーションの推進」は国の方針としても出されており、内閣府の総合科学技術会議でも、基本的取り組み方針として「研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する、未来への希望を抱かせる心の通った双方向コミュニケーション活動を『国民との科学・技術対話』と位置付けること」とし、具体的に大学や研究機関においても今後取り組むべき事項が列挙されるなどの流れができつつあります。一方、科学の他分野からは天文分野は「科学コミュニケーション」が進んでいると見なされており、その点で当事者たちの考え方や手法をまとめて社会に発信できる形にすることは重要でしょう。「科学コミュニケーション」というものと、天文教育や普及・広報にたざざわっている方々の普段からの活動と違いがあるのでしょうか。どのような関係にあると捉えるべきなのでしょう。フォーラムではまず広い立場から見て現在実践されている科学コミュニケーションの実情を知り、その中で天文分野における特性を概観したいと思っています。さらに市民的な立場で活動されている例についても話題提供していただき、今後どのような形での発展が期待できるのかを議論する予定です。

- 内 容：1. 「今の時代に必要な科学コミュニケーションとは」 横山広美（東京大学理学部）
 2. 「天文学分野における科学コミュニケーション」 縣秀彦（国立天文台）
 3. 「市民の立場による科学コミュニケーション」 小幡真希（星のソムリエみたか）
 4. 討論 進行：高梨直紘（東京大学生産技術研究所/EMP）

参加費：日本天文学会年会は非会員も参加できます。また、天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。年会受付時に、その旨お申し出下さい。

実行委員：仲野誠（大分大学）、直井雅文（埼玉県立浦和高校）、中道晶香（京都産業大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）

◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「宇宙探求への道」

日 時：2011年3月20日(日) 14:00～17:00（開場13:00）

場 所：つくば国際会議場エポカル <http://www.epochal.or.jp/>

対 象：中学生以上・一般向け（小学生以下でも参加可）

内 容：4講演

- (1) 「宇宙ステーションと宇宙開発」 佐藤直樹（JAXA）
- (2) 「星くずから惑星を作るー計算機の中の地球」 小久保英一郎（国立天文台）
- (3) 「宇宙の始まり」 中尾憲一（大阪市立大学）
- (4) 「南極から宇宙を観る」 中井直正（筑波大学）

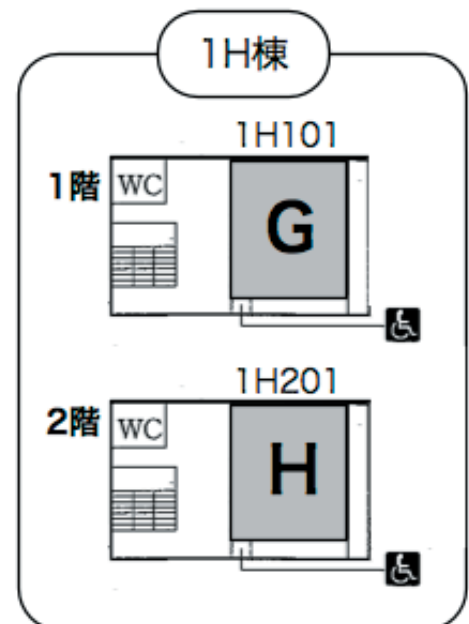
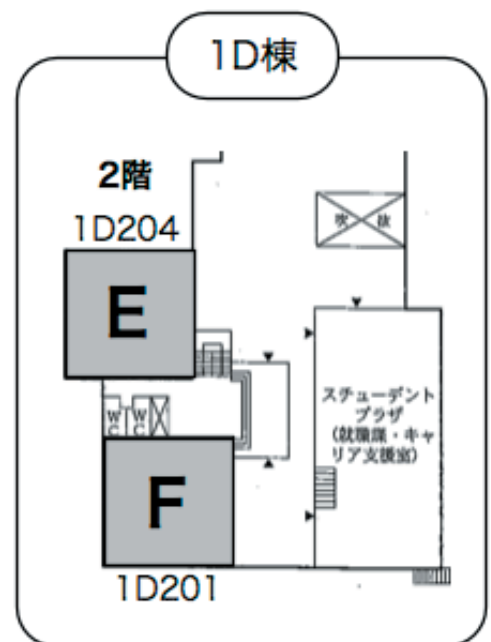
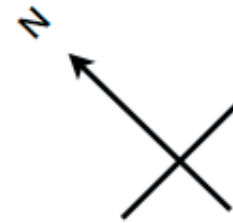
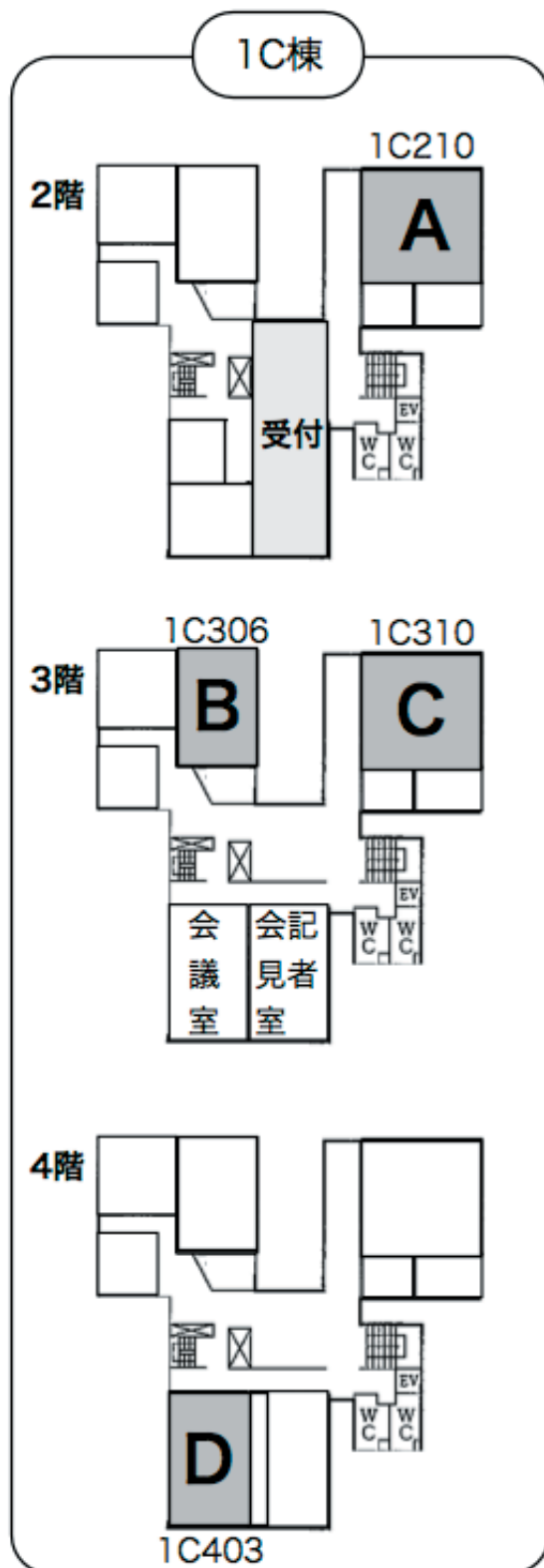
趣 旨：「はやぶさ」などの宇宙探査、「すばる」、「すざく」などの観測装置がもたらす最新の成果に注目が集まる昨今、日本天文学会では年会開催時に、専門研究者以外の方を対象とした講演会を開催しております。今回は、4つの興味深いテーマを取り上げ、第一線で活躍されている研究者の方々に、最先端の研究のお話とこれまでのご経歴やご苦労などのお話を通して「宇宙探求への道」についてご紹介していただきます。

最初の講演では、実験棟「きぼう」の活動が本格化してきた国際宇宙ステーションの全貌と今後の宇宙開発について、JAXAの佐藤直樹領域リーダーにご紹介いただきます。2番目の講演では、太陽系の惑星ならびに、太陽系外で見つかった500個にも達する惑星がどのようにしてできたのか、コンピューターを用いてこの謎に迫る研究を、国立天文台の小久保英一郎准教授にご紹介いただきます。3番目の講演では、この宇宙はそもそもどのようにして始まったのか。多くの人が興味をそそられるこの壮大なテーマについて、大阪市立大学の中尾憲一教授に、一般相対性理論に基づく宇宙の始まりについてご紹介していただきます。4番目の講演では、地上の最高の観測条件を求め、究極の宇宙観測とも言うべき南極大陸から宇宙を観る計画を筑波大学の中井直正教授にご紹介いただきます。いずれも、最先端の大変興味深いテーマです。奮ってご参加下さい。

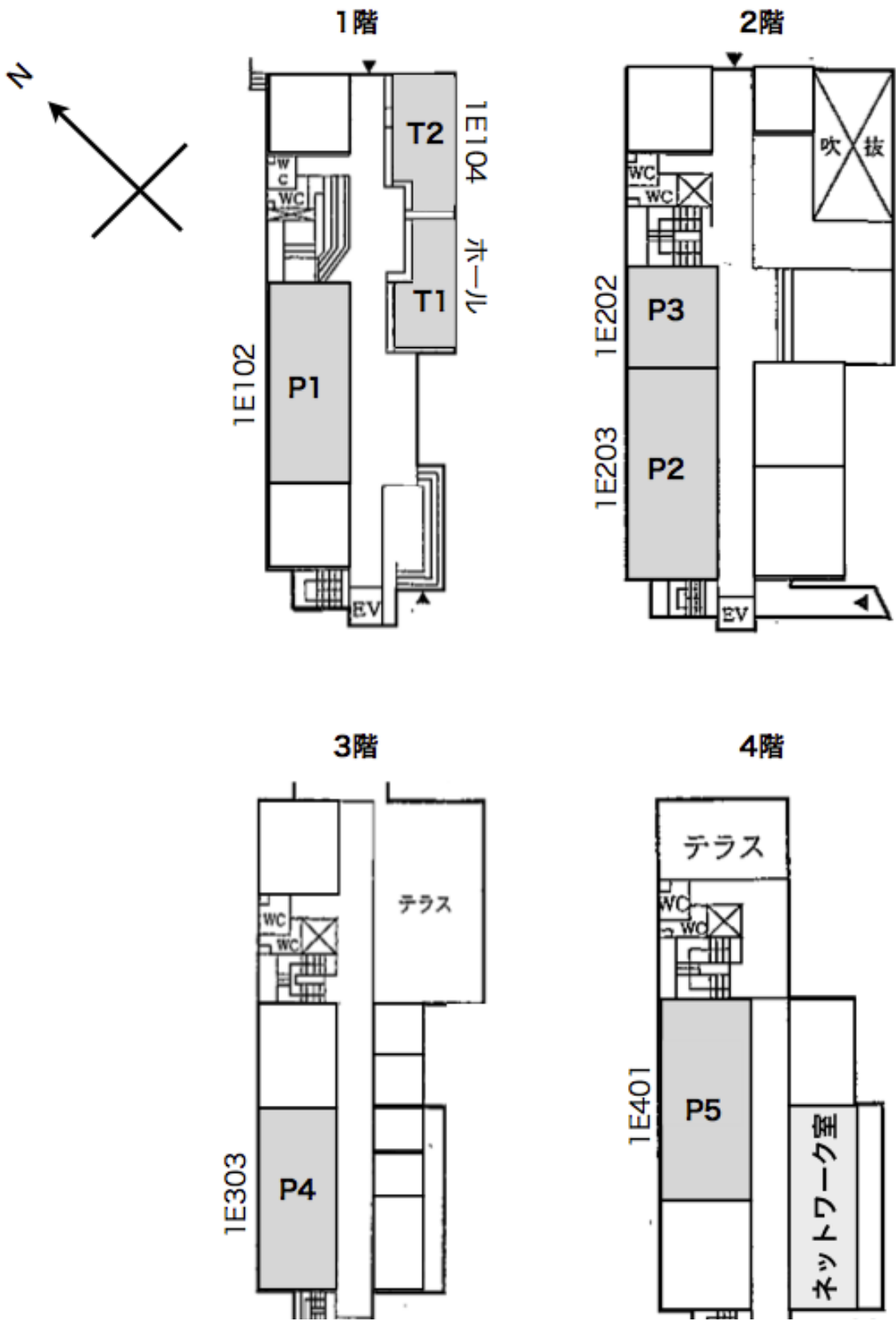
申 込：事前の参加申し込みは不要。当日、会場にて受付して下さい。入場無料。

ただし、定員1000名を越える場合には入場制限をすることがあります。

講演会場 (1C, 1D, 1H棟) 案内図



ポスター会場 (1E棟) 案内図



口頭セッション 3月16日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【超新星爆発】	【太陽系】	【銀河団】	【銀河核】	【銀河形成】	【高密度星】	【教育・他】	【星・惑星】
13:00	K01a	L01a	T01a	S01a	X01a	J01a	Y01a	P01a
13:12	K02a	L02a	T02a	S02a	X02a	J02a	Y02a	P02a
13:24	K03a	L03a	T03a	S03a	X03a	J03b - J05b	Y04b - Y06b	P03a
13:36	K04a	L04a	T04a	S04a	X04a	J06a	Y07a	P04a
13:48	K05a	L06a	T05a	S05a	X05a	J07a	Y09a	P05a
14:00	K06a	L07a	T06a	S06a	X07b - X09b	J08a	Y11a	P06a
14:12	K07a	L08a	T07a	S07a	X11a	J09a	Y12a	P07a
14:24	K08a	L09a	T08a	S08b, S09b S11b	X12a	J10a	Y13a	P08a
14:36	K09a	L12a	T09a	S12a	X13a	J11a	Y14a	P09b - P11b
14:48	K12a	L13a	T10b	-	X14a	J13a	Y15b - Y17b	-
15:00	K13b - K15b	L14b - L16b	-	-	-	J14b, J15b	Y19b	-
15:15	ALMA 特別セッション (H会場)							
16:45	天文教育フォーラム (H会場)							
18:30	理 事 会							

口頭セッション 3月17日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【銀河】	【銀河核】	【銀河形成】	【高密度星】	【教育・他/ 恒星】	【星・惑星】
09:30	V01a	W01a	R01a	S13a	X15a	J17a	Y21a	P13a
09:42	V02a	W02a	R02a	S14a	X16a	J18a	Y23a	P14a
09:54	V03a	W03a	R03a	S15a	X17a	J19a	Y24a	P15a
10:06	V04a	W04a	R04a	S16a	X18a	J20a	Y25b, Y26b Y30b	P16a
10:18	V05a	W05a	R05a	S17a	X19a	J21a	Y32b - Y34b	P17a
10:30	V06a	W06b-W08b	R06a	S18a	X20b, X21b X23b	J22a	N01a	P18a
10:42	V07a	W09a	R07a	S19a	X24b - X26b	J23a	N02a	P19a
10:54	V08a	W10b-W12b	R08a	S20a	X27a	J24a	N03a	P20a
11:06	V09a	W13a	R09b, R10b	S21b - S23b	X28a	J25a	N04a	P21b - P23b
11:18	V10a	W16a	R11a	-	X29a	J26a	N05a	P24b - P26b
11:30	V11b - V13b	W17b, W18b	-	-	-	J27b, J29b J30b	N06b	P27b
11:42	V14b - V16b	-	-	-	-	J31b	-	-
11:54	V17b	-	-	-	-	-	-	-
11:30	ポスター							
12:30	昼休み(評議員会)							
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【銀河】	【銀河核】	【銀河形成/ 太陽】	【高密度星】	【恒星】	【星・惑星】
13:30	V18a	W19a	R12a	S24a	X30a	J32a	N07a	P30a
13:42	V19b - V21b	W20a	R13a	S25a	X31a	J33a	N08a	P31a
13:54	V22a	W21b-W23b	R14a	S26a	X32a	J34a	N09a	P32a
14:06	V23a	W25a	R15a	S27a	X33a	J35a	N10a	P33a
14:18	V24a	W26a	R16a	S28a	X34a	J36a	N11b, N12b N15b	P34a
14:30	V25a	W27a	R17a	S29a	M01a	J37a	N16a	P35a
14:42	V26a	W28a	R18a	S30a	M02a	J38a	N17a	P36a
14:54	V27a	W29b-W31b	R19a	S31a	M03a	J39a	N18a	P37a
15:06	V28a	W33a	R20a	S32b - S34b	M04a	J40a	N19a	P38b - P40b
15:18	V29a	W34a	R21a	S35b	M05a	J41a	N20a	P41a
15:30	総会(大学会館)							
17:00	林忠四郎賞受賞記念講演(大学会館)							
18:00	懇親会(大学会館)							

口頭セッション 3月18日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【銀河/星間】	【宇宙論】	【太陽】	【高密度星】	【共進化】	【星・惑星】	
09:30	V30a	W35a	R23a	U01a	M06a	J42a	A01a) A08a	P42a	
09:42	V31b - V33b	W36b-W38b	R24a	U02a	M07a	J43a		P43a	
09:54	V34a	W39a	R25a	U03a	M08a	J45a		P44a	
10:06	V35b - V37b	W40b-W42b	R26a	U04a	M09a	J46b - J48b		P45a	
10:18	V38a	W43b-W45b	Q01a	U05a	M10a	J49a		P46a	
10:30	V39b - V41b	W46b-W48b	Q02a	U06a	M11a	J50a		P48a	
10:42	V45a	W49b-W51b	Q03a	U07a	M12b-M14b	J51a		P50b - P52b	
10:54	V46a	W52a	Q04a	U08a	M15b-M17b	J52a		P53b - P55b	
11:06	V47b - V49b	W53a	Q05a	U09b - U11b	M18b-M20b	J53b - J55b		P56b - P58b	
11:18	V50b	W54a	Q06b - Q08b	U12b, U13b	M21b	-		P59b - P61b	
11:30	-	W55b	Q09b - Q11b	-	M23a	-		-	
11:42	-	-	Q12b, Q13b	-	-	-		-	
11:30	ポスター								
12:30	昼休み								
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【星間】	【宇宙論】	【太陽】	【高密度星】	【共進化】	【星・惑星】	
13:30	V51b - V53b	W56a	Q14a	U15a	M24a	J57a	A09a) A17a	P62a	
13:42	V54a	W57a	Q15a	U16a	M25a	J58a		P63a	
13:54	V55b, V58b V59b	W58a	Q16a	U17a	M26a	J59a		P64a	
14:06	V60a	W59a	Q17a	U18a	M27a	J60a		P67a	
14:18	V61a	W60a	Q18a	U19a	M28a	J61a		P68a	
14:30	V62a	W61a	Q19a	U20a	M29a	J62a		P69a	
14:42	V63b - V65b	W62a	Q20a	U21a	M30a	J63a		P70a	
14:54	V66b - V68b	W63a	Q21a	U22a	M31a	J64a		P71a	
15:06	V69b - V71b	W64a	-	U23a	M32a	J65a		-	
15:18	V72b - V74b	W65a	-	U24a	M33a	-		-	
15:45	研究奨励賞受賞記念講演 (H会場)								
16:45	LCGT 特別セッション (H会場)								

口頭セッション 3月19日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【星間】	【宇宙論】	【太陽】	【高密度星】	【共進化】	
09:30	V75a	W66a	Q22a	U25a	M34a	J66a	A18a S A29b	ジュニア セッション
09:42	V76a	W67a	Q23a	U26a	M35a	J67a		
09:54	V77a	W68a	Q24a	U27a	M36a	J68a		
10:06	V78a	W69a	Q25a	U28a	M37a	J69a		
10:18	V79a	W70a	Q26a	U29a	M38a	J70a		
10:30	V80a	W71a	Q27a	U30a	M39a	-		
10:42	V81a	W72a	Q28a	U31a	M40a	-		
10:54	V82a	-	Q29a	U32a	M41a	-		
11:06	V83a	-	Q30a	U33a	M42a	-		
11:18	V84a	-	Q31a	U34a	M43a	-		
11:30	V85a	-	Q32a	U35a	M44a	-		
11:42	-	-	-	-	M45a	-		
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							

ポスターセッション 3月16日(水) ~ 3月19日(土)

ポスター会場 1

【ジュニアセッション】

ポスター会場 2

【共進化】(2)

A28b A29b

【高密度星】(20)

J03b J04b J05b J12c J14b
 J15b J16c J27b J28c J29b
 J30b J31b J44c J46b J47b
 J48b J53b J54b J55b J56c

【新星爆発】(5)

K10c K11c K13b K14b K15b

【星・惑星形成】(32)

P09b P10b P11b P12c P21b
 P22b P23b P24b P25b P26b
 P27b P28c P29c P38b P39b
 P40b P47c P49c P50b P51b
 P52b P53b P54b P55b P56b
 P57b P58b P59b P60b P61b
 P65c P66c

【星間現象】(8)

Q06b Q07b Q08b Q09b Q10b
 Q11b Q12b Q13b

【PDL】

【最新情報コーナー】

ポスター会場 3

【天文教育・他】(23)

Y03c Y04b Y05b Y06b Y08c
 Y10c Y15b Y16b Y17b Y18c
 Y19b Y20c Y22c Y25b Y26b
 Y27c Y28c Y29c Y30b Y31c
 Y32b Y33b Y34b

ポスター会場 4

【太陽系】(6)

L05c L10c L11c L14b L15b
 L16b

【太陽】(11)

M12b M13b M14b M15b M16b
 M17b M18b M19b M20b M21b
 M22c

【恒星】(7)

N06b N11b N12b N13c N14c
 N15b N21c

【地上観測機器】(46)

V11b V12b V13b V14b V15b
 V16b V17b V19b V20b V21b
 V31b V32b V33b V35b V36b
 V37b V39b V40b V41b V42c
 V43c V44c V47b V48b V49b
 V50b V51b V52b V53b V55b
 V56c V57c V58b V59b V63b
 V64b V65b V66b V67b V68b
 V69b V70b V71b V72b V73b
 V74b

ポスター会場 5

【銀河】(4)

R09b R10b R22c R27c

【活動銀河核】(12)

S08b S09b S10c S11b S21b
 S22b S23b S32b S33b S34b
 S35b S36c

【銀河団】(1)

T10b

【宇宙論】(6)

U09b U10b U11b U12b U13b
 U14c

【飛翔体観測機器】(34)

W06b W07b W08b W10b W11b
 W12b W14c W15c W17b W18b
 W21b W22b W23b W24c W29b
 W30b W31b W32c W36b W37b
 W38b W40b W41b W42b W43b
 W44b W45b W46b W47b W48b
 W49b W50b W51b W55b

【銀河形成】(12)

X06c X07b X08b X09b X10c
 X20b X21b X22c X23b X24b
 X25b X26b